

会議名	第3回地域活動交付金分科会		公開 (一部非公開)
日時	令和4年3月8日(火) 午後7時27分～午後8時23分	場所	一鉄田公民館 2階集会室
出席者	(委員) 井原勉、酒井祥英、岡本勝則、中野岩夫、犬塚孝好、小林正子、 山本いづみ、井上こずえ、田中純子、柿野岳(オンライン)、 西田みゆき		
	(事務局) 自治振興課：宮本主査 自治振興事務所：近藤所長、岡本主任		
欠席者	(委員) 豊田啓季	傍聴者	なし
配布資料	次第		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告を行った。

2 議事

(1) 令和4年度地域活動交付金申請団体審議(採点結果の共有、意見集約) **非公開**
事務局から書面審査により採点の取りまとめを行った結果について共有し、採点票に記載された意見について意見交換により内容の整理を行った。

(2) 二次募集について

審査結果について地域協議会の議決前ではあるが、地域活動交付金分科会として意見をまとめるため、協議を行った。その結果、地域活動交付金分科会としては、二次募集は行わないとの意見となった。

<主な意見>

(委員) 二次募集を行うと、どれくらいの期間が必要ですか。

(事務局) 募集要項の検討が必要であり、募集の周知、申請受付、情報の共有、審査で約半年程度の期間必要となります。

(分科会長) 二次募集を実施する場合、4月からとなり、来年度の分科会で行うこととなります。

(委員) 二次募集を実施すると年間を通してということになりますね。

(委員) 予算にはどれくらいの残額がありますか。

(事務局) 八名地域自治区は約3,000千円の予算で半分程度あります。

(委員) 昨年度までの二次募集の実施状況や実施した結果はどうでしたか。

(事務局) 二次募集は、ここ数年は実施していません。

(分科会長) 今回の募集期間からこれまでに申請団体以外から相談はなく、4月以降も申請はないだろうということで、これまでは実施していませんでした。

(委員) 八名地域自治区として予算が残るのであれば、二次募集ではなく、交付金の上限額を上げていく必要があるのではないですか。

(分科会長) 次回の交付金の募集から交付金の上限額をどのようにするか検討していきたいと思います。

3 その他

(1) 書面審査を終えて

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地域活動交付金の審査を書面審査で実施したことに対する意見を各委員から聞き取り、共有した。

<意見>

・資料を読み解くのが大変でした。動画を視聴しながら、かみ砕いて理解するのも難しかったです。分科会の大勢の中で意見をしにくいこともあるので、事前に資料があって審査できるのは良かったです。できれば対面で行いたかったです。

・提出まで期間が短くて内容を確認するのが大変でした。自分なりに意見は出すことができたので、良かったです。

・対面で申請団体から話を聞ける場がないのは残念でした。対面だと緊張するので、前もって勉強できるのは良いですが、もっと分科会の中で話をして勉強しながらやっていくのが良かったです。資料からだけで読み解くのは大変なので、勉強会などしっかりとできると良かったです。

・家で悩みながらではあるが、審査できました。対面だとその場で質問や採点をして、すぐに結果がでてしまうのも心配だと思いました。

・動画での説明を見て、聞き逃したところを何度も見直すことができるのが理解しやすく良かったです。今後、このような形もいいのではないかと思います。

・資料の事業計画を見て、資料の作成が難しいと感じました。事業ごと同じような方の名前がありましたが、慣れていれば資料を作成できると思いますが、資料が誰でも作成しやすいものであれば、もっと活動団体が増えるのではないかと思います。

・直接に説明を聞く機会があれば良かったです。動画で内容をしっかり確認できるのは良かったです。

・地域活動交付金分科会の主旨そのものを理解することが大変でした。団体がいろいろ考えて活動していることが分かりました。顔を見て説明を聞いた方が伝わりやすいと思いました。動画も良い点があるので、動画を残しながらできる方法が良いと思いました。

・書面であれば難しいことも考えながら審査できるので、良いのではないかと思います。昨年度は、活動団体として申請を行いました。手続きが大変で予算のことや書類を整えるのが大変でした。動画撮影は若い人であれば良いですが、元々活動している方は高齢の方が多かったので、資料の作成や撮影は難しいため、区から代表を選出して申請してもらいました。もう少し資料が簡単に作成できるようにならないかと思いました。

・対面の審査会では、すぐに考えを伝えられない人がいるので、書面審査であれば、自分のペースでできて良かったです。オンラインを使うなどで審査会に若者をもっと交えてできる方法がないかと思いました。地域マネージャーの件もオンラインを活用して専門家とのやりとりができれば、遠方であってもうまくできるのではないかと思います。地域活動交付金を小中学校PTAの方などに呼びかけして活用してもらおうようにしてはどうかと思いました。

(2) 今後の予定について

次回の地域協議会を令和4年3月17日(木)午後7時30分から一鉄田公民館で開催することを確認した。

4 閉会